



2025年8月26日

各 位

会 社 名 クリングルファーマ株式会社
住 所 大阪市北区中之島四丁目3番51号
Nakanoshima Qross 未来医療 R&D センター10階
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 達 喜 一
(コード番号: 4884 東証グロース)
問 い 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 村 上 浩 一
TEL. 06-7653-6728

HGF（肝細胞増殖因子）を用いた末梢神経障害に対する新規再生治療法開発 に関する慶應義塾大学との共同研究開始のお知らせ

当社は、この度、慶應義塾大学医学部（東京都新宿区）と HGF を用いた末梢神経障害に対する新規再生治療法開発に関する共同研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

末梢神経は再生することが知られており、神経の直接縫合が困難なギャップが大きい損傷には、外科的手術として自家神経移植や神経再生の足場となる基材が用いられています。しかしながら、再生すべき神経ネットワークの距離の限界や回復に一定の時間を要するなど克服すべき課題は多くあります。HGF は、末梢神経の再生を促進する効果が期待されており、末梢神経の軸索伸展、再髄鞘形成、他の神経栄養因子の発現を高めることなどが報告されています (1)。また、マウス神経因性疼痛モデルに対して、HGF が神経因性疼痛を軽減する効果が示唆されています (2)。

当社は、同大学医学部整形外科学教室・岩本卓士准教授及び名越慈人専任講師と共同で、末梢神経再生における外科的手術の課題克服に向け、HGF を用いた有効性の検証と実用化に適した投与方法を検討することで、新たな治療戦略の早期実用化を目指します。

なお、本件による当社の業績へ与える影響について、研究開発費に占める割合は軽微であります。

文献 1. Ko RK., et al. Sci Rep. 2018 May 29;8(1):8316.

文献 2. Nho B., et al. FASEB J. 2018 Sep;32(9):5119-5131.

以上

HGF (Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子) について

HGF は、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGF は神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾大学再生医療リサーチセンター 岡野栄之教授及び整形外科学教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。また、ALS に対する薬理効果は、東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 青木正志教授らのグループの研究により示されました。新たな神経難病治療薬として、HGF への期待が高まっています。

他方、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋教授らのグループは、HGF の抗線維化

作用に着目し、線維化疾患である声帯癒痕に対する薬理効果を明らかにしました。HGF には、声帯癒痕を端緒として、他の線維化疾患への適応拡大の可能性が期待されています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象に HGF タンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGF タンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする第Ⅲ相臨床試験を終了し、さらに追加臨床試験に向けた準備を進めています。また、声帯癒痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGF タンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。